

新コスモス電機の“今”をお届け

コスモス トーリー

2024年11月

社会に不可欠な半導体の製造工場を
最先端技術で支えつづける



ロングセラー
シリーズが
リニューアルして
新登場!

コスモス式ガス検知部
PS-8シリーズ

詳細はP.8注目製品をご覧ください。



新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO.,LTD.

世界中のガス事故をなくしたい

新コスモス電機株式会社は設立以来、独自のガスセンサ技術を用いて家庭用ガス警報器、工業用定置式ガス検知警報器、携帯用ガス検知器、さらには住宅用火災警報器、ニオイセンサとその応用商品を開発し、ご家庭から幅広い産業の分野で安全・安心・快適のためにお使いいただいております。

私たちの設立当初からの「世界中のガス事故をなくしたい」という想いは、昔も今も、そしてこれからも変わることはありません。命や財産を守る保安機器をお届けする。お客さまのニーズにお応えする商品やサービスを提供する。時代の一步先を見据えた柔軟な発想でオンリーワン商品を開発する。私たちは挑戦という歩みを止めることなく、社会に貢献できる商品をお届けしているという誇りと使命感を持ち、着実に進んでいきたいと考えています。



代表取締役社長

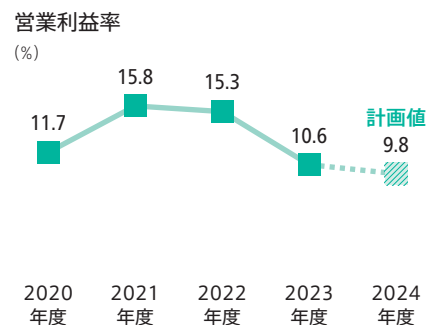
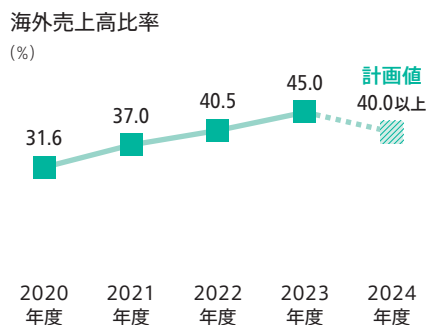
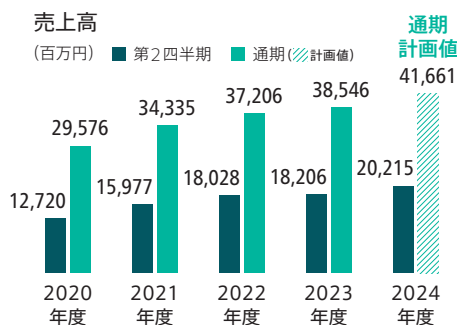
高橋良典

Yoshinori Takahashi

新コスモス電機グループ 中期経営計画 2022-2024

定性目標 「新たな挑戦、新たな価値創造に取り組み、持続可能な成長軌道を歩むための第一歩」と位置づけ、「お客様に選ばれ社会に役立つ新コスモス電機グループ」を目指す

定量目標と進捗



OUR STRENGTH
1

グループ全体でガスセンサの 生産能力は世界トップレベル

新コスモス電機グループは、ガスセンサの生産能力および開発において、世界トップレベルを誇っています。

独自の熱線型半導体式センサ(CHセンサ)は、高感度でガスに対する優れた選択性を持ち、ガスを早期に検知することで家庭や工場における安全性の向上に大きく貢献しています。

近年では、MEMS*技術をガスセンサに応用し、大幅な小型・省電力化を実現したことで、電池式の家庭用ガス警報器の開発に成功しました。

*MEMS : Micro Electro Mechanical Systems



熱線型半導体式センサ
(CHセンサ)



MEMSガスセンサ
センサ素子は0.1mm四方で、体積1/500、
消費電力1/600(当社従来比)を実現



OUR STRENGTH
2

ガスセンサの中核施設 「コスモセンサセンター」

ガス警報器やガス検知器の心臓部であるガスセンサは、世界最大規模のガスセンサ研究開発・製造施設であるコスモセンサセンターで生み出されています。センサの基礎研究から製造までを一貫して行い、ニーズに合ったガスセンサをスピーディに創出。独自の自動化ラインで高品質、安定供給を実現しています。



コスモセンサセンター(兵庫県三木市)

Topics!

品 質 の 追 求

多様な第三者の目で、品質を確保するための体制を構築

命を守るガス警報器・ガス検知器は、万が一の際に正しくガスを検知しなければなりません。そのため自社だけでなく、取引先や認証機関など第三者からの目線でも製品の品質を確認しています。

例えば、家庭用ガス警報器では新製品発売前に、認証・検定機関や採用いただいたガス事業者様に工場を監査いただき、製造工程を確認しています。また海外向け製品では、地域・国・用途ごとに必要な認証が異なり、取得しているUL認証、ATEX防爆認証など認証機関から定期的な監査を受けています。中には抜き打ちで実施される監査もあり、いつ監査が入っても大丈夫なよう日頃から規定やルールに従って製造を行っています。

このような取り組みにより、家庭用ガス警報器を採用いただいているガス事業者様が実施する品質表彰で、採用されている製品において5,000台に1台以下という低い故障率を達成し、3年連続で表彰いただきました。



品質管理本部 第一品質管理部
宮本 晋司

事業のご紹介

家庭用ガス警報器・住宅用火災警報器

1964年に、世界で初めて家庭用ガス警報器を開発。これまでに累計7,500万台以上を販売し、国内トップシェアを保っています。

住宅用火災警報器分野では、従来の煙センサに加え一酸化炭素センサを搭載し、火災をより早くお知らせする火災警報器を業界に先駆けて発売しました。

その他、熱中症おしらせやネットワーク機能付きなど付加価値の高い警報器を数々開発しています。



【LPガス用】ガス警報器



【都市ガス用 ネットワーク機能付き】
ガス・CO警報器



一酸化炭素検知機能付き
火災警報器

工業用定置式ガス検知警報器・携帯用ガス検知器

作業現場でのガス濃度測定をはじめ、爆発事故、中毒事故、酸素欠乏事故の防止など産業の現場における安心・安全をサポート。小型・軽量化やカラー液晶、音声警報、無線機能搭載など現場のニーズに対応した警報器や検知器を幅広く展開しています。



マルチ型ガス検知器



酸素・一酸化炭素計



一点式ガス検知警報器

ニオイセンサ・空気質検知

ガスセンサ技術を活かして、ニオイや室内の空気質を検知する製品を展開しています。環境管理や品質管理、空調等の省エネルギーなど様々なソリューションを提案し、快適な環境づくりに貢献しています。



ニオイセンサ



換気扇コントローラ



業績の状況 (2024年度 中間期)

業務用携帯型ガス検知器関連

売上高: **3,088**百万円

(前年同中間期比5.4%増)

- 都市ガス業界向けを中心としたガス検知器の販売が堅調に推移
- メンテナンスサービスが堅調に推移

工業用定置式ガス検知警報器関連

売上高: **5,640**百万円

(前年同中間期比7.7%増)

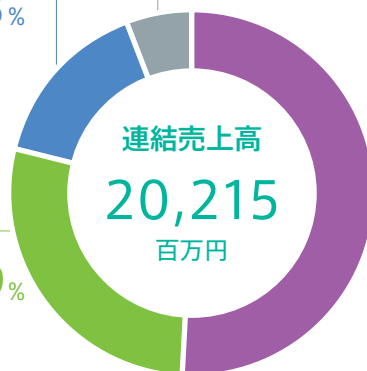
- 国内市場の自動車業界向けガス検知警報器および海外市場のエレクトロニクス業界向けガス検知警報器の販売が好調に推移
- メンテナンスサービスが好調に推移

その他 5.7%

15.3%

27.9%

51.1%



連結売上高
20,215
百万円

家庭用ガス警報器関連

売上高: **10,337**百万円

(前年同中間期比11.8%増)

- 国内市場向け都市ガス用警報器および海外市場向け警報器用ガスセンサの販売が好調に推移

当社は、最新のセンサ技術と高品質なサービスを提供することで、世界中のお客様に価値を届けることを目指して

● 事務所 ★ グループ会社



MEMS熱線型半導体式センサ

家庭での水素利用に向け 強みのある水素検知技術で 水素の安全利用に貢献

ヨーロッパでは家庭での水素利用の動きが強まっていますが、貯蔵方法や規制整備など安全に利用するための様々な課題があります。当社では水素の安全利用のため、日本で実績がある当社の水素検知技術を活用すべく、現地調査や実証実験を進めています。

FRANCE

New Cosmos-BIE ★

パリ事務所



パリ事務所
Hedia ZELLAMA

ニューヨーク市でガス警報器設置が 義務化、小売り向けへの展開に注力しています

U.S.A.

家庭でのガス爆発事故の防止のために2023年12月にニューヨーク市でガス警報器の設置を義務付ける法令が通過し、2025年5月末を期限とした設置が進められています。これを受け公団やマンションオーナー団体から多くの引き合いをいただいています。また小売り向けにはガスとCOを一台で検知するモデルを展開し、アメリカ全土に店舗を持つ大手ホームセンターでの取り扱いが始まりました。当社の電池式の家庭用ガス警報器は電池駆動で10年寿命なうえ、誤報が少なく、すばやくガス漏れを検知できるという他社にはない特長があり、それを武器に多くの受注をいただいています。

ただ他の地域を見ると、まだまだガス事故の危険性への意識は低いと感じています。ガス警報器が安全のために必要なものであることを積極的にPRし、さらなる拡販に努めていきます。

★ FIGARO USA, INC.
★ New Cosmos USA, Inc.



New Cosmos USA, Inc.
堀淵 亮大



ホームセンター向け
ガス・CO警報器

NEWS



STRATEGY

います。グローバル市場での競争力を強化するため、現地ニーズに対応した柔軟な戦略を展開しています。

中国での内需増加に対応するため 遼寧に新たな生産拠点となる新会社を設立

CHINA

2023年4月に遼寧に新たな生産拠点となる新会社を設立しました。従来、中国の生産拠点は上海のみでしたが、内需増加への対応とBCP対策の観点から設立しました。家庭用ガス警報器および水素燃料電池自動車用の水素ディテクタ等を製造しており、今後は家庭用IoT警報器などの最先端の製品も製造する計画です。



遼寧の新会社



NEW COSMOS INTELLIGENT EQUIPMENT
(LIAONING) CO., LTD.

靳 思達

NEW COSMOS INTELLIGENT EQUIPMENT (LIAONING) CO., LTD.

NEW COSMOS ELECTRIC (SHANGHAI) CO., LTD.

タイ事務所 ●

TAIWAN NEW COSMOS ELECTRIC CO., LTD

NEW COSMOS
ELECTRIC KOREA
CO., LTD.



TAIWAN NEW COSMOS
ELECTRIC CO., LTD

翁 侑新

現地法人化でお客様満足度向上、 半導体市場向け製品の拡販に注力

TAIWAN

販売体制強化を目的に、2023年7月に事務所を現地法人化しました。お客様の細やかなニーズに対応し、満足度向上を図ります。また世界のトップを走る台湾の半導体市場で、半導体工場向けガス検知部の新製品、コスモス式ガス検知部「PS-8シリーズ」をはじめとした製品の拡販をより強力に推し進めています。



SEMICON Taiwan 2024に出展

CGS2024を実施しました

昨年に続き2回目の開催となるCGS2024 (Cosmos Global Summit)を中国・上海で実施しました。海外本部と海外のグループ会社が集結し、グローバル展開推進に向けて活発に議論を交わしました。

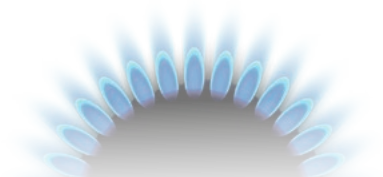
LinkedIn®を始めました

世界中でビジネスコミュニケーションに利用されているLinkedIn®企業ページの運用を2024年6月より開始し、海外市場向けのプロモーションに活用しています。ぜひフォローをお願いします!

※ LinkedInはLinkedIn Corporationまたはその関連会社の登録商標です

リンクドイン





voL.
10

実は身近なシーンで活躍する、当社の携帯用ガス検知器

11 住み続けられるまちづくりを



引っ越し時のガス開栓や4年に一度の法定点検でガス事業者がご家庭を訪問する際、当社のガス検知器が使用されていることをご存じですか？

ガス機器や配管の点検の際に、写真のような作業風景を目にしたことがある方もいるかと思います。ここでガス漏れや一酸化炭素発生の危険性がないかを確認するために使用されている機器が、当社の携帯用ガス検知器です。



COメータ
XP-333IIIai



可燃性ガス探知器
XP-702III-L

ガス普及当初から使われる 当社の携帯用ガス検知器

日本の家庭でLPガスが普及しはじめた1960年代初頭。普及が進むにつれ事故が増える中、当社は世界初の自動吸引式携帯用ガス検知器を発売。当時としては画期的な自動吸引式であった点が好評で、さらにLPガス販売店でガス検知器の保有が義務付けられたことがきっかけとなり、国内の約7割のLPガス販売店で採用されるほど急速に普及しました。この商品のヒットを契機に、上記で紹介したCOメータと可燃性ガス探知器の初代モデルをガス事業者と共同で開発。現在に至るまで全国の多くのガス事業者で当社の携帯用ガス検知器が役立てられています。



世界初の自動吸引式を実現した
当社初の携帯用ガス検知器 XP-301

長く使われ続ける理由

「可燃性ガス探知器」は、初代モデルを1979年に発売以来、リニューアルを繰り返しながら現在も使われ続けているロングセラー商品です。その理由は、発売当初に現場作業者の圧倒的な支持を得た操作性です。それまでは配管に石鹼液を掛け、漏えい箇所から出る泡でガス漏れを見つけましたが、この方法のみだと時間がかかる上、現場を汚してしまうという課題がありました。そこで、当時ガス検知器といえば濃度表示が当たり前であった中、ガスの有無はブザーとランプで知らせるのみとし、表示を無くすことで小型化した可燃性ガス探知器を開発。高感度に検知するため大幅に点検の作業時間を短縮しました。今後も現場の声を大事にした長く使われ続ける商品の提供を通じ、「世界中からガス事故をなくす」という目標に向け着実に進んでいきます。



可燃性ガス探知器の
初代モデル XP-702

トピックス

従業員の子供向けイベントを実施しました

2024年8月に当社として初の試みとなる従業員の子供向けイベントを開催し、子供23名と従業員・家族20名の計43名が参加しました。火災実験室「プラシオラボ」の見学を通じ、火災の危険性や警報器の有効性を学んでもらうとともに、センサ工場見学や食堂ランチ体験等を通じ従業員の家族に向けた会社についての理解促進を目的としています。従業員のモチベーションアップやコミュニケーション促進の一助とすべく、今後も継続して実施する予定です。



「プラシオラボ」見学の様子

淀川工場が竣工しました

2024年9月に本社のある大阪市淀川区に淀川工場が竣工しました。ガス警報器の受注増に伴うガスセンサの生産増への対応とBCP対策を目的としており、各種センサの生産を行います。建物は地下1階地上6階建てで、センサ工場の他、生産本部および物流グループが入る予定です。現在、製造設備の搬入などを進めており、2025年1月末より稼働予定です。また、大阪市が確保を進める「津波避難ビル」へ申請中です。



淀川工場

Pick up!

注 目 製 品

半導体製造現場の安全を守るコスモス式ガス検知部「PS-8シリーズ」発売

半導体製造工場では製造工程において、人体に危険な特性を持つ多種多様なガスを扱っており、多数のガス検知警報装置の設置が必要となります。当社では、校正済みのセンサユニットを交換するだけで現場でのガス校正が不要で、メンテナンスの手間やランニングコストを低減できる「コスモス式」を採用した新製品「PS-8シリーズ」を2024年7月に発売しました。従来半導体材料ガスの検知には、定電位電解式センサが使われますが、当社は世界初となる熱線型半導体式センサによるシラン検知*を実現しました。これにより従来1年寿命であったセンサの長寿命化(最長5年間)を可能にしました。また、ユーザーのニーズに合わせて柔軟にガス種の追加が可能で、視認性の高い大型液晶を採用しています。



技術開発本部 第二開発部

田中 康孝

* シランは半年に1回の定期校正が義務付けられています

会社情報

主なグループ会社・海外事務所



ネットワーク (2024年4月1日現在)

当社

国内事務所

17カ所

海外事務所

2カ所

工場・研究所

5カ所

当社グループ

国内

5社

海外

10社

パリ事務所



New Cosmos-BIE B.V.



会社沿革 売上高推移



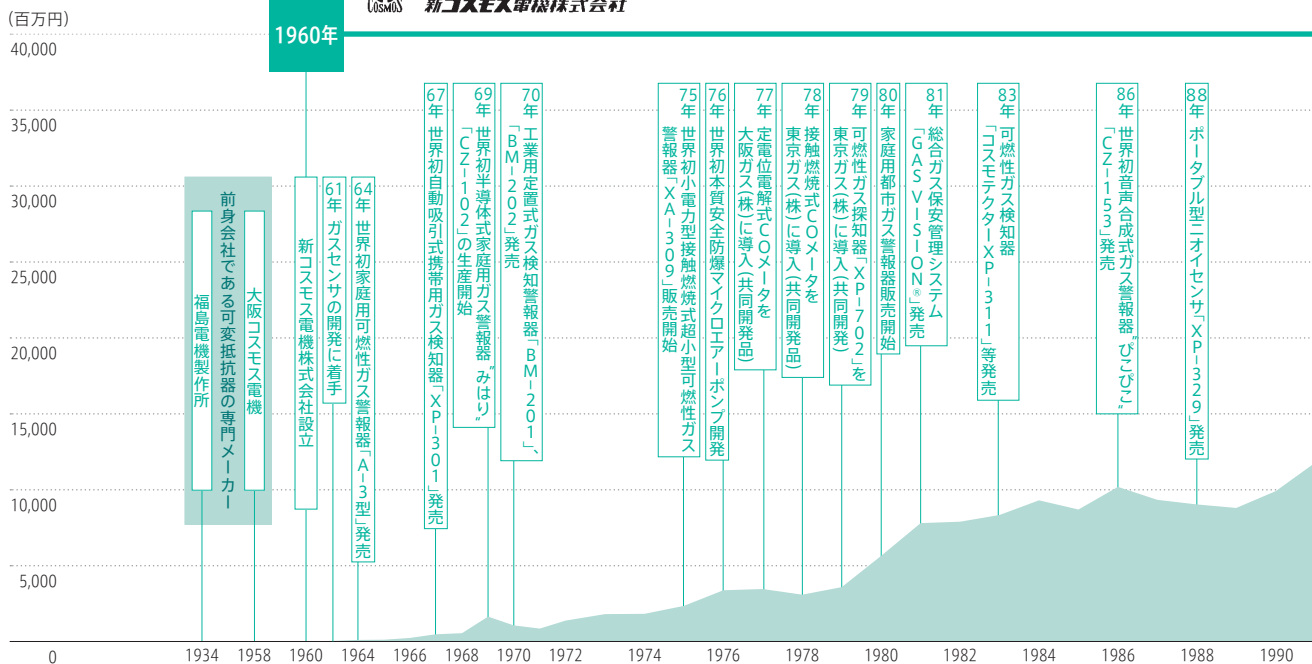
笠原 理一郎
1960～2001
代表取締役社長
2001～2002
代表取締役会長



重盛 徹志
2001～2017
代表取締役社長
2017～2020
代表取締役会長
2020
取締役会長
2020～
相談役(現任)



高橋 良典
2017～
代表取締役社長
(現任)

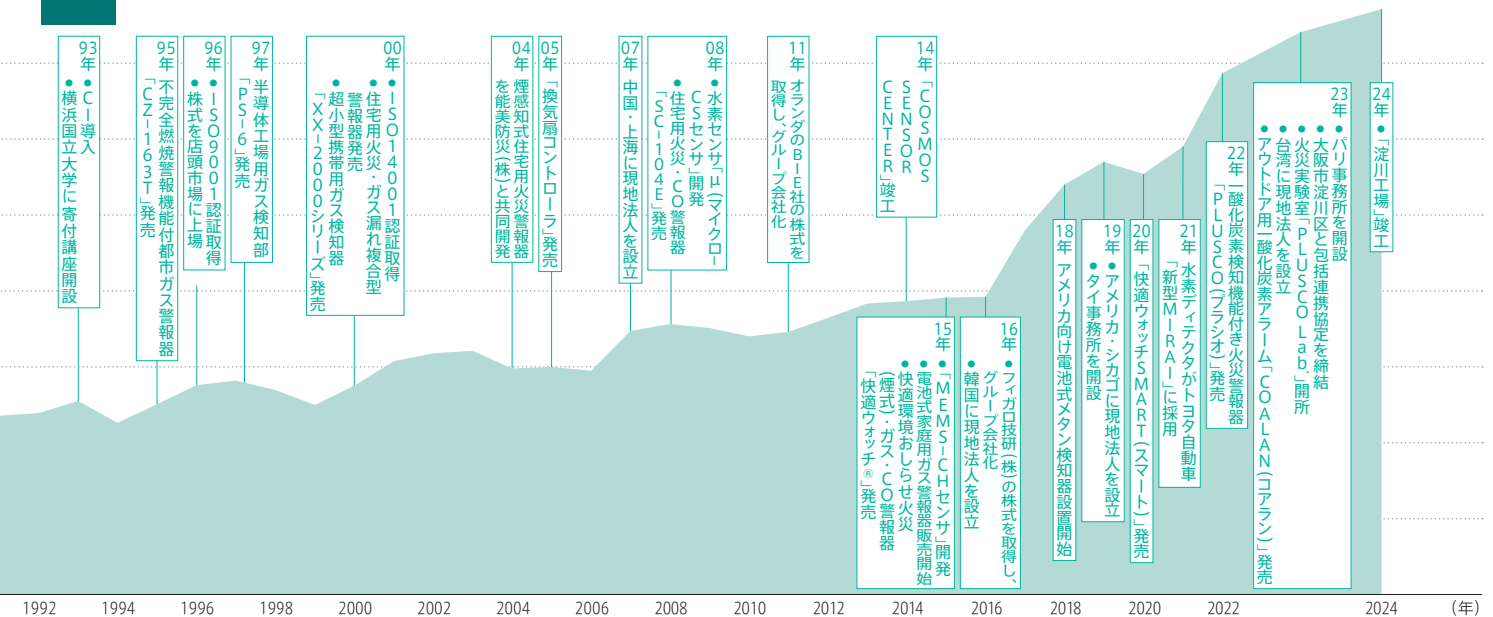




📍 拠点の住所はWEBサイトをご覧ください。
<https://www.new-cosmos.co.jp/corporate/branch/>

新コスモス電機株式会社

1993年



企業理念

経営理念 ーコスモススピリットー

コスモスは、未来を自らの手で創る人々の集団である。

コスモスは、現状に満足することなく、常に未知の可能性に挑戦する創造と向上の精神を尊重する。

コスモスは、関係する全ての人々の利益を尊重し、全員の衆智によって経営される。

コスモスは、社員に自己の適性に応じた価値ある仕事と成長していく実践の場を与える。

コスモスは、常に価値ある商品を生み出し社会生活の向上に貢献する。

コスモスの使命

「コスモスはセンサテクノロジーで、安全・安心・快適な環境創りに貢献する」

社是

「自主・自力・創造・執念・感謝」

会社概要

社名	新コスモス電機株式会社
本社	〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4
創業	1934年(昭和9年)5月
設立	1960年(昭和35年)6月15日
株式公開	1996年(平成8年)11月
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
事業内容	家庭用ガス警報器、住宅用火災警報器、工業用定置式ガス検知警報器、携帯用ガス検知器、ニオイセンサ、空気質検知等製品の研究、開発、製造、販売およびメンテナンス
資本金	14億6,000万円
従業員数	単体460名(2024年3月31日現在)
決算期	3月31日
主な取引銀行	三菱UFJ銀行／みずほ銀行／三菱UFJ信託銀行



みんなでシェアして、低炭素社会へ。
新コスモス電機株式会社は、Fun to Shareに賛同しています。